

総合計画審議会

2月14日、第1回神崎市総合計画審議会（藤永正弘会長）を行い、委員に対し委嘱状が交付されました。

これからの神崎市の将来像を方向づける「神崎市総合計画」の策定にあたり、市長から審議会に諮問がなされました。今後審議会は、市長の諮問に基づき調査・審議し、答申を行います。平成19年度中の計画策定に向け、審議を重ねていく予定です。



※詳しくは、神崎市ホームページ（<http://www.city.kanzaki.saga.jp>）をご覧ください。



◆委員 17人

（委員名簿順、敬称略）

- 廣瀧 恒明、角田 晴義
- 佐藤 知美、江頭 勇
- 宮地 常幸、森田 至
- 荒木 修一、藤永 正弘
- 實松 英治、津山 剛
- 三井所 實、三城眞貴枝
- 森田八重子、於保 泰正
- 園田 政臣、竹重 文夫
- 永原 則昭

神崎市総合計画に関するアンケート結果

新しいまちづくりを進めるための指針となる「神崎市総合計画」を策定するにあたり、市民の皆さんのニーズを把握し、意見を反映させるため、無作為で抽出した18歳以上の市民2,389人、市内の中高生300人を対象に市民アンケートを平成18年10月に実施しました。アンケートの主な結果として、神崎市に愛着を感じているという方は約7割でした。また、神崎市に今後も住み続けたいと考えている方は約8割でした。

そのほか、施策の重要度と満足度を聞いたところ、「地場産業の育成と企業誘致」「行財政運営の効率化の推進」「上・下水道の整備」「定住を促進する環境の整備」などについて重要度は高いが満足度が低く、今後の展開が望まれています。

今回、調査したアンケート結果を総合計画の策定に反映し、市民が望む神崎市を目指します。

